

8 県内自治体の姉妹・友好都市提携状況

| 自治体名 | 提携先 | 国名(州名) | 提携年月日 | 姉妹都市提携の概要 |
|--------|-----------------------|--------------------|-------------|---|
| 宮城県[3] | 吉林省 | 中国 | 昭和62年6月1日 | 昭和51年に第一次日中友好議員団が中国を訪問したのをはじめ、県農業視察団・県議会友好代表団の訪問など吉林省との交流が盛んになり、友好省県を結ぶに至った。 |
| | デラウェア州 [Delaware] | アメリカ | 平成9年9月10日 | 平成2年から訪問団の相互派遣や紹介展の開催、州政府職員や大学生による交流を実施。それらの積み重ねを受け、平成9年5月、姉妹県州締結に向けた覚書を締結。同年6月議会で姉妹県州締結に関する議決を踏まえ、同年9月に姉妹県州締結に関する議定書に調印した。 |
| | ローマ県 [Roma] | イタリア (ラツイオ州) | 平成13年10月8日 | ローマ県は、今からおよそ400年前に支倉常長率いる慶長遣欧使節団がこの地を訪れた歴史的経過を有している。これを縁に、平成9年、ローマ県側から、本県出身でイタリア在住の芸術家武藤順九氏を通じて、本県に対する交流の希望が伝えられたのをきっかけに、宮城県議会議員団欧州調査団が知事の親書を携えローマ県を訪問し、相互交流がスタートし、提携を結ぶに至った。 |
| 仙台市[7] | リバサイド市 [Riverside] | アメリカ (カリフォルニア州) | 昭和32年3月9日 | 昭和26年5月の母の日、在仙陸軍病院に入院中の将兵に、大学婦人協会仙台支部の有志から花束が届けられたことがリバサイド市にも伝わり、「東北大学女子学生のため奨学制度」設立となり、これらが契機となって提携を結ぶに至った。 |
| | レンヌ市 [Rennes] | フランス | 昭和42年9月6日 | 昭和38年当時の駐日フランス大使エチエンヌデヌリー氏が来仙の際、レンヌ市もともに古い歴史を持つ町であること、地方の行政文化の中心であることから姉妹都市の話が出され、提携を結ぶに至った。 |
| | ミンスク市 [Minsk] | ベラルーシ | 昭和48年4月6日 | 昭和37年日ソ協会の招きにより、ソ日協会事務局長よりSPハーリン氏が来仙した際、仙台日ソ協会幹部との間で仙台市とソ連の都市との姉妹提携の話が出され、白ロシアの首都ミンスク市が推薦されたことが契機となり姉妹都市となる。 |
| | アカプルコ市 [Acapulco] | メキシコ | 昭和48年10月23日 | 昭和46年10月、支倉常長生誕400年顕彰会が発足されたのを契機に、昭和47年12月メキシコ大統領来日の際に県副知事、仙台市収入役が上京し、常長像のアカプルコ建立の話をした。昭和48年4月駐日メキシコ大使来仙の際に、アカプルコ市との姉妹都市提携希望の意向を大使に伝え、協力方を依頼。その後外務省等の協力もあり昭和48年10月に提携を結ぶに至った。 |
| | 長春市 | 中国 (吉林省) | 昭和55年10月27日 | 長春は、東北地区(旧満州)の中心都市で東北の拠点という立場や学都など似かよった背景があるということから、昭和54年7月中日友好協会の黒田会長に提携の話がなされたのがきっかけとなり締結された。 |
| | ダラス [Dallas] | アメリカ (テキサス州) | 平成9年8月29日 | 平成4年11月、当時のダラス市長スティーブ・バーレット氏が来仙し、ダラス市が仙台市と文化・教育・産業分野における交流を希望していることを表明。その後、青少年交流、市民訪問団の相互訪問等約5年間の交流を経て、友好都市提携を行うこととなった。 |
| | 光州広域市 | 韓国 | 平成14年4月20日 | 平成4年10月に光州市長より姉妹都市提携を希望する旨の書簡が送られてきたことに端を発する。行政・市民での多様な分野の交流が活発化したことを受けて、平成12年5月に「友好促進協定」を締結。その後も更に交流を深め、平成14年5月に仙台市において正式調印を行うに至った。 |

Ⅷ その他

| 自治体名 | 提携先 | 国名(州名) | 提携年月日 | 姉妹都市提携の概要 |
|---------|-----------------------------|---------------------------|-------------|--|
| 石巻市[2] | チビタベッキア市 [Civitavecchia] | イタリア (ラツィオ州) | 昭和46年10月12日 | 「チビタベッキア市は、支倉常長がイタリアに第一歩を印した土地でもあり、石巻市とは歴史的に因縁深い関係にあるので、姉妹都市になってはどうか」という話が契機となり進められた。 平成17年4月1日、旧石巻市と近隣6町の合併により新石巻市となったことに伴い、チビタベッキア市と締結していた姉妹都市締結を継承するために新石巻市として再提携を呼びかけているが、いまだに再提携文書を取り交わしていない状況にある。(平成25年度締結に向け、現在、チビタベッキア側に親書を送付している。チビタベッキア側が受入可能であれば、事務レベルで訪問を実施する予定。) |
| | 温州市 | 中国 (浙江省) | 平成17年11月17日 | 昭和54年に第1次市民友好訪中団が浙江省を訪問して以来、昭和58年に市制50周年を記念して石巻市で中国浙江省展を開催するなど友好を深めてきたが、昭和59年5月、第5次市民友好訪中団が訪中した際、浙江省から友好都市として港を持った温州市が紹介され、友好都市を結ぶに至った。 平成17年4月1日の旧石巻市と近隣6町の合併により新石巻市となったことに伴い、旧石巻市が中国温州市との間で締結していた友好都市締結を継承することとなり、温州市の意向を確認の上、新石巻市として再提携文書を取り交わすこととなった。 |
| 気仙沼市[2] | プンタレーナス市 [Puntarenas] | コスタリカ | 昭和53年5月22日 | 昭和52年5月、コスタリカ共和国のメカニカルエンジニアリングUCRロランド氏ほか5名が気仙沼市漁港の関連施設視察をしたことがきっかけとなり、姉妹都市提携の調印となった。 |
| | 舟山市 | 中国 (浙江省) | 平成9年10月8日 | 江戸時代、気仙沼の廻船が舟山群島に漂着した際、当地で手厚い保護を受けたという歴史的事実を背景に、昭和60年代から両市間で相互往来が行われるようになった。平成7年に友好交流協議書に調印。以降、これに定める方針に基づき交流を深め、平成9年に友好都市の締結を行った。 |
| 白石市 | ハーストビル市 [Hurstville] | オーストラリア (ニューサウスウェールズ州) | 平成6年10月23日 | 平成5年1月、駐仙台オーストラリア領事館シャントナー領事の仲立ちで、豪州との姉妹都市提携を模索していたが、平成5年11月に市長らがハーストビル市を訪問したことが契機となり、平成6年に両中学生の相互訪問、国際水泳大会の開催などを通じて交流を深め、姉妹都市提携の調印に至った。 |
| 名取市 | グアララッペス市 [GuararaPes] | ブラジル (サンパウロ州) | 昭和54年5月31日 | グアララッペス市には名取市出身の移住者が多く、名取市にはたびたび里帰りをするなど、友好関係が深かったことがきっかけとなり、グアララッペス日伯文化協会の橋渡しで姉妹都市提携を結ぶこととなった。 |
| 角田市 | グリーンフィールド市 [Greenfield] | アメリカ (インディアナ州) | 平成2年9月12日 | 昭和63年に角田市内の企業3社がグリーンフィールド市に合弁会社を設立した縁で両市の交流が深まり、姉妹都市提携を結ぶに至った。 |
| 岩沼市[2] | ナパ市 [Napa] | アメリカ (カリフォルニア州) | 昭和48年2月15日 | 昭和47年当時、岩沼・ナパ両市には日本航空機の運行乗員訓練所があり、ナパ運行乗員訓練所長の岡川健次郎氏から「ナパ市長は岩沼市と姉妹都市を結びたい」という話が岩沼市長に伝えられたことがきっかけとなり進められた。 |
| | ドーバー市 [Dover] | アメリカ (デラウェア州) | 平成15年11月17日 | 平成12年3月、岩沼市の中高生ら13人を派遣。以来、岩沼市からは毎年派遣し、ドーバー市側からも4回来市するなど、相互訪問などを通じて交流を深めてきた。 |

Ⅷ その他

| 自治体名 | 提携先 | 国名(州名) | 提携年月日 | 姉妹都市提携の概要 |
|-------------------|--|-------------------------|------------------|--|
| 登米市[3] (旧 登米町) | サウスレイク市 [Southlake] | アメリカ (テキサス州) | 平成18年7月3日(再締結) | 平成3年9月14日、民間レベルでの友好条約を締結、平成15年9月3日、登米町国際交流協会より、行政レベルでのサウスレイク市との姉妹都市締結の要望が提出されたことを受け、姉妹都市関係を締結するに至った。 また、市町村合併に伴い、平成18年7月3日、新市名による再締結協定書をアメリカ・サウスレイク市において取り交わした。 |
| (旧 東和町) | バーノン市 [Vernon] | カナダ (ブリティッシュ・コロンビア州) | 平成18年10月16日(再締結) | バーノン市には同町出身の移住者が多く、友好関係が深かったことにより、姉妹都市関係を締結するに至った。 また、市町村合併に伴い、平成18年10月16日、新市名による再締結協定書をカナダ・バーノン市において取り交わした。 |
| (旧 南方町) | 無錫市恵山区 | 中国 (江蘇省) | 平成16年9月9日 | 南方町(現登米市)と中国との交流は、昭和60年9月に南方町農協青年部の30周年記念事業として、青年部員28名が無錫県紅旗郷(現在の華庄鎮)を表敬訪問したことが始まりであり、翌年から「活力に満ちたまちづくり」の推進者となる農業後継者を育成することを目的に町・農協共済のもと、「農業後継者派遣事業」として、これまで12回・164名が渡航しており、中国からは華庄鎮友好訪日団、華庄鎮農業研修生(約1年)、無錫県貿易考察団、そして無錫市恵山区農業経済使節団を招聘し、友好親善を深めてきた。 平成16年、南方町制施行40周年及び中国友好交流20周年を記念し、友好関係議定書の締結に至った。 |
| 大崎市[3] (旧 古川市) | ミドルタウン市 [Middletown] | アメリカ (オハイオ州) | 平成2年10月18日 | 昭和57年、米国オハイオ州の国際親善合唱団「プロミセス」が来市しホームステイしたのが縁となり、その後民間同士の交流が続いていたが、平成2年、アイバン・ドーン氏の仲介により、姉妹都市を締結した。 |
| (旧 三本木町) | ダブリン市 [Dublin] | アメリカ (ジョージア州) | 平成10年5月29日 | 三本木町にあるYKK(株)東北工場とYKKアメリカ社ダブリン工場の仲介を契機に、平成2年9月にダブリン市長が三本木町を表敬訪問し、相互交流が始まった。平成9年4月に三本木町長がダブリン市を返礼訪問したことで姉妹都市提携が具体化し、平成10年3月の三本木町議会で議決され、同年5月29日提携に至る。 |
| (旧 鹿島台町) | 鄭州市金水区 | 中国 (河南省) | 平成6年7月19日 | 友好交流事業の推進について、平成6年、議定書に調印。友好訪問団の派遣・受入などの事業を実施した。 |
| 村田町 | バックリー市 [Buckley] | イギリス (フリントシャー県) | 平成1年4月21日 | 当時の村田町とバックリー市共通の誘致企業の橋渡しにより、相互の交流を通して、文化・スポーツ・経済の理解を深めながら友好親善を促進し、将来にわたる両国間の友好福祉と政界平和に貢献することを目的に提携調印となった。 |
| 柴田町[2] | アシスシャントブリアン市 [Assis Chateau Briand] | ブラジル (パラナ州) | 昭和56年4月13日 | 当時のアシスシャントブリアン市長の父君が柴田町の出身で、里帰りの際に市長からの提携要望書を持参したのがきっかけとなり、双方の小学校間の交流が深まり、アシスシャントブリアン市長の来町を機に友好都市提携が締結された。 |
| | 丹陽市 | 中国 (江蘇省) | 平成6年2月23日 | 昭和58年から町日中友好協会が組織した訪中団で鎮江市との交流を深めてきたが、昭和63年2月1日に廃県置市により鎮江市から独立した新生都市「丹陽市」を紹介され、生涯スポーツ国際交流事業等を通して相互往来を重ねてきた。鎮江市の労を介して中央政府、対外友好協会の同意を得られたので、提携の調印に至った。 |

Ⅷ その他

| 自治体名 | 提携先 | 国名(州名) | 提携年月日 | 姉妹都市提携の概要 |
|---------|----------------------------|---------------------|------------|---|
| 丸森町 | ヘメット市 [Hemet] | アメリカ (カリフォルニア州) | 平成2年5月12日 | 昭和62年9月に青年海外研修を行い、アメリカ西海岸地域を視察した際にヘメット市を訪問した。以後毎年ヘメット市を訪れ、市内の視察や、市長をはじめ市民の方々との交流を重ねてきたが、平成元年5月にヘメット市長であるニシノ氏が丸森町を訪問された際に、姉妹都市についての話が持ち上がり、締結に至った。 |
| 松島町 | イル・デ・パン島 [Ile des Pins] | 仏領ニューカレドニア | 昭和55年9月4日 | 昭和41年、当時の愛知蔵相から、ニューカレドニアにはイル・デ・パン(松の島)という松島町の風景によく似たところがあるので姉妹都市を結んでどうかという話がきっかけとなり、進められてきた。 |
| 七ヶ浜町 | プリマス町 [Plymouth] | アメリカ (マサチューセッツ州) | 平成2年10月3日 | プリマス町の開村100周年及び七ヶ浜町内にある外国人避暑地「高山国際村」の開村100周年を記念して、歴史、産業、地勢及び人口等が類似する米国プリマス町へ調査団を派遣した。プリマス町も日本の都市との交流を望んでおり、翌年、姉妹都市の提携に至った。 |
| 利府町 | リフー島 [Lifou] | 仏領ニューカレドニア | 昭和55年9月5日 | 昭和54年1月ニューカレドニアにはリフーという島があり、利府町とリフー島、松島町とイル・デ・パンとの姉妹提携を結びたいとの要請があり、同時に二つの姉妹都市が生まれた。 |
| 涌谷町 [2] | サリナス市 [Salinas] | アメリカ (カリフォルニア州) | 平成10年8月25日 | 涌谷町が平成元年度から産業後継者の海外視察研修を始めた際に、宮城県農業短期大学佐々木邦男教授の助言で、サリナス市を研修地とした。これまで、この視察の参加者数は300人、また、中学生のホームステイでは100人がサリナス市を訪れている。このような交流が10年目を迎えた平成10年8月に、友好関係を締結した。 |
| | ソーロ市 [Soro] | デンマーク (西シェラン県) | 平成15年4月23日 | 平成9年、共同通信社の記者からソーロ市で行われている先進の高齢者福祉施策を紹介され、涌谷町から平成11年、平成12年、平成15年と町長をはじめ、議会議員、関係職員がソーロ市を訪問し、現地の高齢者福祉施策を学ばせていただいた。 交流が始まった平成9年から姉妹交流の意向は相互に確認しており、平成15年4月に涌谷町の高齢者福祉複合施設の開所式にソーロ市長はじめスタッフ3名を招致し、議定書に調印した。 |
| 美里町 | ウイノナ市 [Winona] | アメリカ (ミネソタ州) | 平成13年9月29日 | 姉妹都市候補地として、中学生を中心に派遣するなどし交流を続けてきたが、尚一層の教育・文化・産業経済・行政の交流を通じ国際社会に対応できる人づくり、まちづくりを推進を図るべく姉妹都市締結の準備を進めてきた。ウイノナ市から、ウイノナ市制150周年に当たる平成13年9月29日に提携希望があり、合意に達し調印に至った。 |
| | 済南市長清区 | 中国 (山東省) | 平成8年4月12日 | 東北大学留学生などを対象にホームステイ交流等を行ってきたが、中国に帰国した留学生から同町との友好交流の気運が盛り上がり、宮城県日中友好協会南郷支部の支援のもと友好締結に至った。 |
| 本吉町 | 吉林市昌邑区 | 中国 (吉林省) | 平成14年8月30日 | 平成8年1月の本吉町日中友好協会設立以降、日中友好町民の翼により民間交流が行われ、吉林市からは昌邑区との提携を勧められた。 平成13年7月、本吉町日中友好協会の寄附により李屯本吉小学校が実現したことで友好交流の期が熟し、国際友好都市の締結を行った。 |

VIII その他

| 自治体名 | 提携先 | 国名(州名) | 提携年月日 | 姉妹都市提携の概要 |
|-----------------|-------------------|--------------------|------------|---|
| 南三陸町 (旧 歌津町) | ベザーノ町 [Besano] | イタリア (ロンバルディア州) | 平成6年10月23日 | <p>歌津町は、平成7年から来るべき21世紀を担う人材育成事業の一環として、中学生の海外派遣研修事業を各年で実施していた。両町がともに世界的に貴重な魚竜化石を産出する縁でホームステイを受け入れていただくとともに大歓迎を受けて、町民ぐるみの交流へと発展した。歌津町が町制施行40周年の記念すべき年に、ベザーノ町との交流の輪をさらに大きなものへと発展させていくために友好関係の締結に至った。</p> <p>その後、歌津町の南三陸町への合併により、その関係も南三陸町へ引き継がれた。町では今後の交流のあり方等を検討している。</p> |